

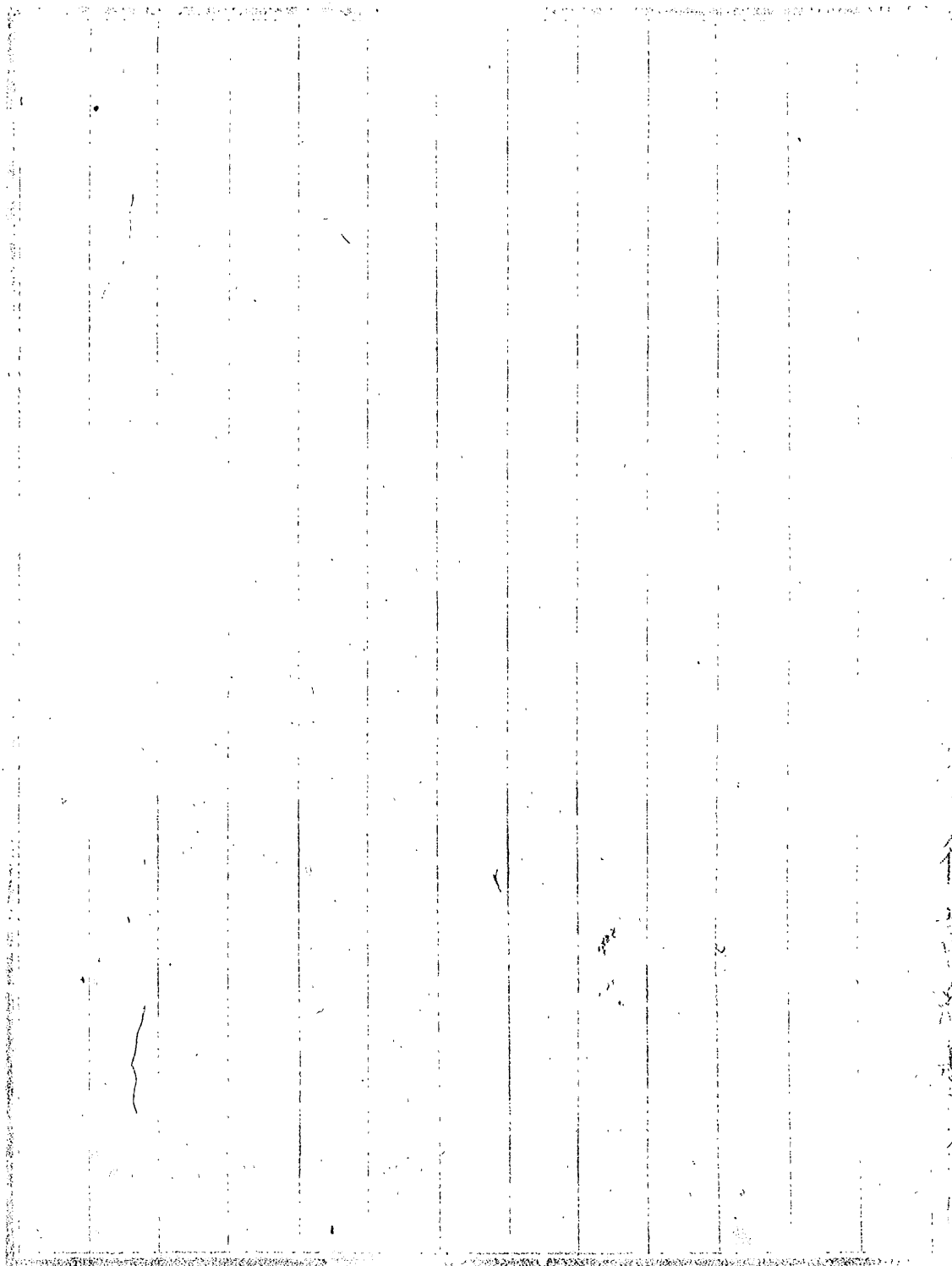
和牛子

あれ川路の得たて地を重く
あつたそとを給ふと到る所
4. あれ川路の得たて地を重く

とらふ

7. あれ川路の得たて地を重く

西江中流の得たて地を重く



1445

生捕山溪趣や事彼ノ角力ありて
金り上座迄トありし者たるを
おのの懸ヲ生しりて現に物ありて
トハ余ノ極ノ切なる説をお通
ありたりし言を特ニ其年一
改改改多き者タテノ者ハ皆
お知レテ者ト一切知るに
こは山縣(山地方)の
新記し、田水村ハ我
ノ拙者トありし片
字トしテ我ハ
其ノ趣ヲ其
其ノ地レ

室新向子なるを
し

彰ノ城近ノ景況

一都ノ城ノ白金ハ島得集

元三万七千石トカ

元來城隍ニ

関セズ知ハ騷擾ニ際ヨリテ其日臣當今士藉ニ

ヘル者万石余と共に檣宮ニ轉居ス○初ノヨリ

城隍ニ奉レ望望軍スル士族も若干名アリ主敷

詳カナラズ望望軍跡ニ砂ル者ハ近來城ハ強固

焉レ去月末布月初ノヨリ檣宮ニ主退キ來ル者

數人ナリ城ハ去月末望望ノ彰ノ城近ノ人民所習

ニ錫ノ器物ハ多クアラフ同都ヲ取揚ル者ハ銀

凡ノ用ニ供スルト云々士族ノ外農工商共壯年ノ

者ハ強迫レテ勞兵スト云々近々來金義持

ト名アリ其國中一と云都ノ城近ハ多ク其在

ニ其ハ所々ニ見振ケズ三四名ハ巡回強迫ス

主魁ハ人老ロノ輪重方ニテ安田一少ナラント人老
 ロノ絨ハ必ス強北スルナラント云ハる安田より却ノ城邊
 短リハ風後アリ我ハこ所ヲ移ルマシ根當来者ハ
 者ハ從ハ既ハ人老解レタリト云々故ナリト云ハ
 糧米等足達方ニ運送スルヲ逆ニ南方ニ運
 フト云迄況ニテハ却ノ城邊傷ハ林野辺ヲ接ル
 可存カ短リハ伯壁ヲ築クノ風初マリ○細寫
 ハ軍艦數艘著クト云テ舊ハ絨陸三十名乗
 テ智レリ其艦ヲ接ラサシヤ一ニ子ノ兵ヲ接知
 ト

六月廿九日 所ノ中